

5 税金はどのように使われている

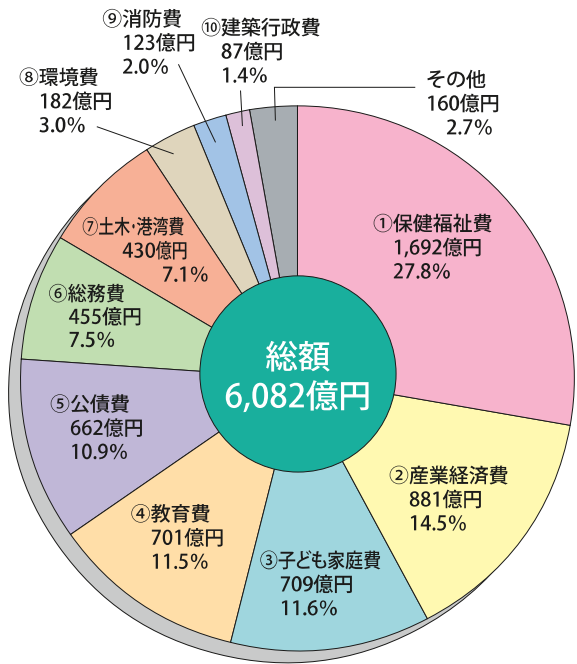
市の仕事とその費用の支出（歳出）

北九州市の支出（令和4年度当初歳出予算）

※本資料の編集時点では、令和5年度の当初予算が成立していないため、代わりに令和4年度の当初予算を記載しています。

①保健福祉費 （保健・医療・福祉など）

介護の必要な人も元気な人も、ともに住み慣れた街で、助け合って安心して暮らしていけるよう、高齢者や障害者に対する保健福祉サービスなどに使われています。



④教育費（学校教育・社会教育など）

私たちがよりよい環境の中で学習できるように学校や図書館、体育館、プールなどの整備に使われています。

公立学校の児童・生徒 1 人当たりの国や地方公共団体年間教育費



小学生

約975,000円



中学生

約1,122,000円



高校生（全日制）

約1,063,000円

義務教育の費用 (975,000円×6年) + (1,122,000円×3年) = 約921万円

(文部科学省「地方教育費調査—令和2会計年度—」より算出)

中学校の校舎をつくと？

Q1. 中学校をつくる場合、校舎や体育館、プールなどを合わせると土地代を除いていくらかかるでしょう？
また、1年間の光熱水費は、いくらかかるでしょう？

(答えは13ページ)

のだからか？

1万円札を積み上げると？

Q2. 1万円札の厚さは約0.1mmです。北九州市の予算を1万円札で積み上げるとどのくらいの高さになるでしょう？
(答えは13ページ)



福岡県や国の支出は
どうなっているの？



14, 15ページのグラフと
比べてみよう!

②産業経済費

地域経済の発展や観光の振興などのために使われています。

⑦土木・港湾費

市民の生活をより豊かに快適にするために、道路・橋・公園や港湾などの整備に使われています。

③子ども家庭費

保育所の運営や、母子保健医療、男女共同参画社会の形成などに使われています。

⑧環境費

家庭や企業から出るごみを処理したり、公害を防止したり、市民が健康で快適に生活できるように環境を守るために使われています。



⑤こうさい公債費

道路や公園、教育施設などを整備するために、市が発行した市債(借金)を返すための費用です。市債を活用すると、その施設を使う将来の市民にも公平な負担となります。

市債を使わない場合

市民負担

…建設時の市民のみが負担



市債を使う場合

市民負担

市民負担

市民負担

市民負担

…将来の市民も公平に建設費用を負担



⑨消防費

火災予防や救急業務など人命や財産を守り、私たちが安心して暮らすために使われています。

※令和4年中の市内の火災件数 247件
※令和4年中の市内の救急車出動件数 59,719件 (8分48秒に1回のペースで出動)

参考

過去の救急車出動件数

令和3年 53,312件
令和2年 51,265件
令和元年 56,756件



⑥総務費

区役所の整備、職員の給料、防犯街灯の設置や市政だよりの発行などに必要な費用です。

⑩建築行政費

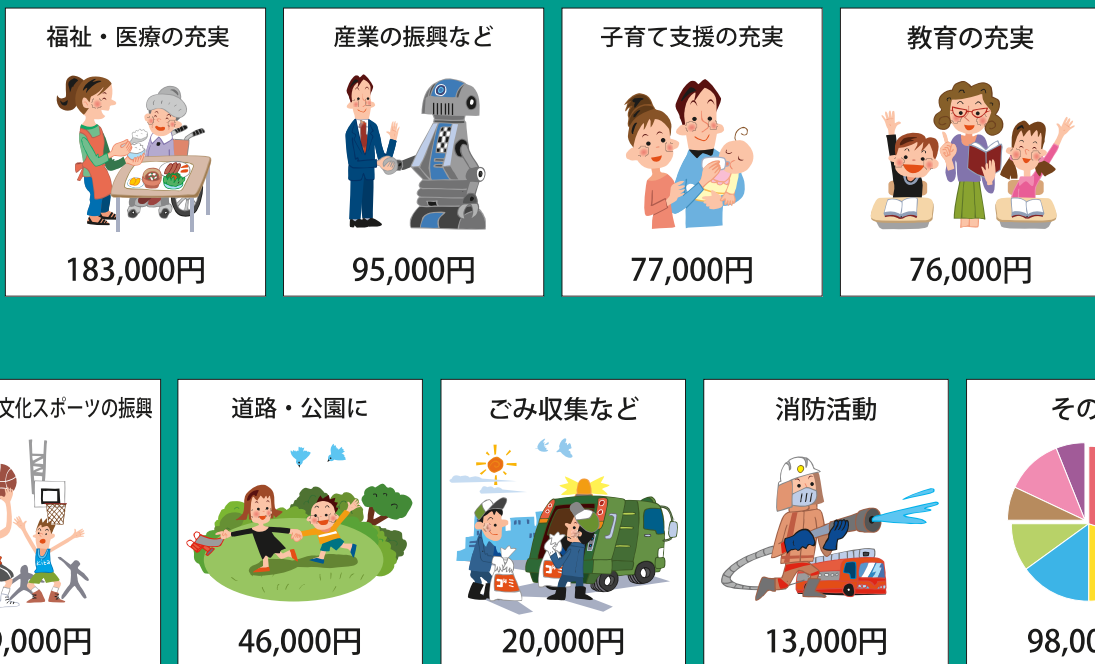
市民の住生活の安定を図るため、市営住宅の建築などに使われています。

● 市民一人当たりの費用は？

市が1年間に支出する費用を市民一人当たりに換算すると約65万7千円*となり、市民生活の向上や地域経済の活性化などいろいろな施策に取り組んでいます。

※ 10ページの令和4年度当初歳出予算（6,082億円）を令和4年4月1日の人口（925,002人）で割ったもの。

市民一人当たり 65万7千円



発展

「ぜいげんいじょう税源移譲」って何？
どうしてこのようなことが必要になるのでしょうか？



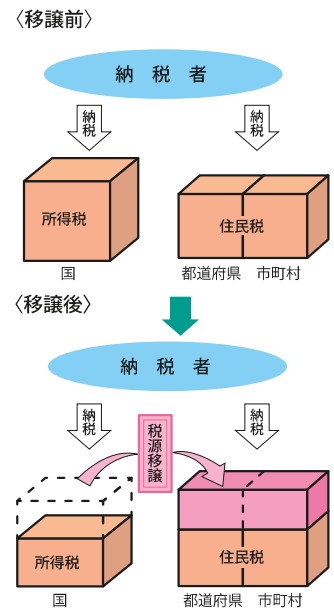
国・都道府県・市町村の税金の配分と「ぜいげんいじょう税源移譲」

8ページのグラフのとおり、市税で集められる北九州市の収入は全体の約3割にすぎません。市が自立して、地域の実情に合った政策を進めるには、必要なお金は自ら市税で用意することが望ましく、それができる税の仕組みが必要です。

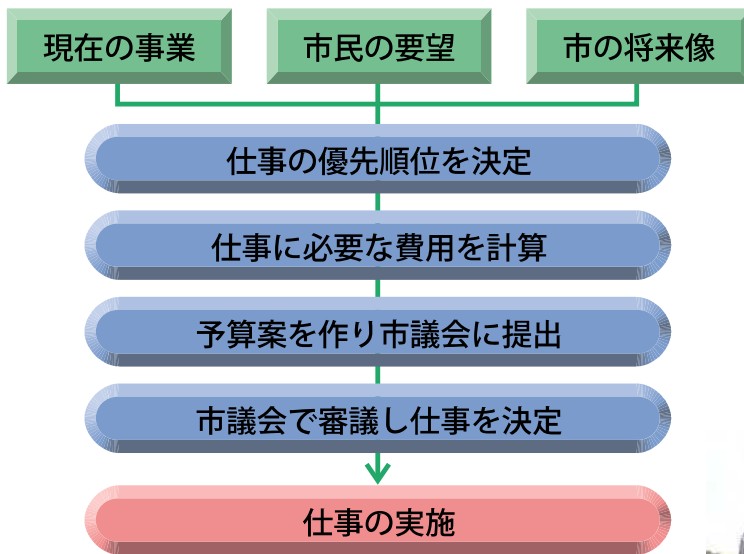
その一方で、国とともに都道府県・市町村がそれぞれ与えられた役割（地方自治）を果たすためには、みなさんが納める税金をわが国全体でバランスよく分配することも大切です。

「ぜいげんいじょう税源移譲」とは、みなさんが納める税金の総額を変えずに、国の財源（税収）の一部を地方（都道府県や市町村）の財源（税収）となるように権限を移すことです。例えば、所得にかかる所得税（国税）の税額を減らして、同じく所得にかかる住民税（県税と市税）の税額を増やすなどの方法がとられます。

都道府県・市町村の自立と、国全体で役割に合った適切な税金の配分を両立するためには、必要に応じてこのぜいげんいじょう税源移譲を行うことが求められます。



市が行う仕事はどのように決まるのか？



市では、毎年、市民の要望や市の将来像などを考え、仕事に優先順位をつけ予算案をまとめています。

この予算案は、市民の中から選挙で選ばれた議員によって構成される市議会で審議され、決められます。

このように、住民が、議員を通してその地域の問題について自ら判断し、決定していくことを地方自治といいます。



北九州市の主要な施策（一部）

令和4年度の北九州市の主要な施策の一部です。これ以外にも多くの仕事に取り組んでいます。

観光などによるにぎわいの創出と子どもの未来を育む環境づくり



北九州市科学館スペースLABOの開館

将来を担う技術系人材の育成を図り、修学旅行生や観光客を呼び込むことで、まちのにぎわいを創出し、より魅力のある施設として運営します。

2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて



まちの競争力を高めるグリーン成長都市の実現

「エネルギーの脱炭素化」と「イノベーションの推進」に戦略的に取り組み、市内産業の競争力強化と都市の魅力向上を目指します。（写真は事業の1つである洋上風力発電）

未来を見据えた環境整備



学校施設の老朽化対策の推進

安全で安心な教育環境を整備するため、「北九州市学校施設長寿命化計画」に基づき、大規模改修（長寿命化改修）及び外壁改修などの老朽化対策や安全対策を実施します。

時代を切り拓く力の育成



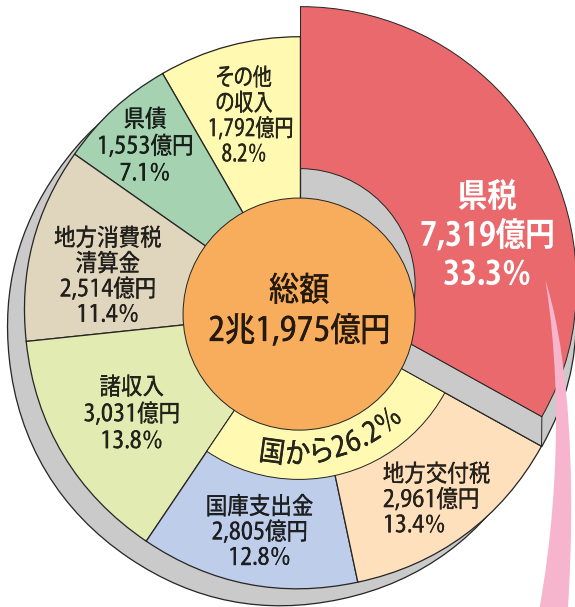
Kitakyushu Global Gateway体験支援事業の実施

英語学習意欲向上のきっかけとするため、市立小・中・特別支援学校等の児童生徒が、令和4年4月にオープンした体験型英語教育施設「Kitakyushu Global Gateway」を体験できるように支援します。

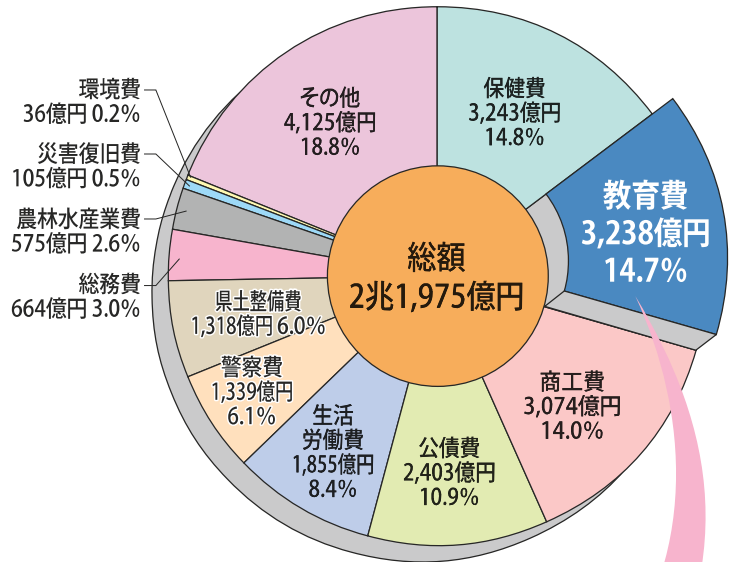
● 県、国の収入（歳入）と支出（歳出）

福岡県の令和5年度当初予算

■ 収入（歳入）

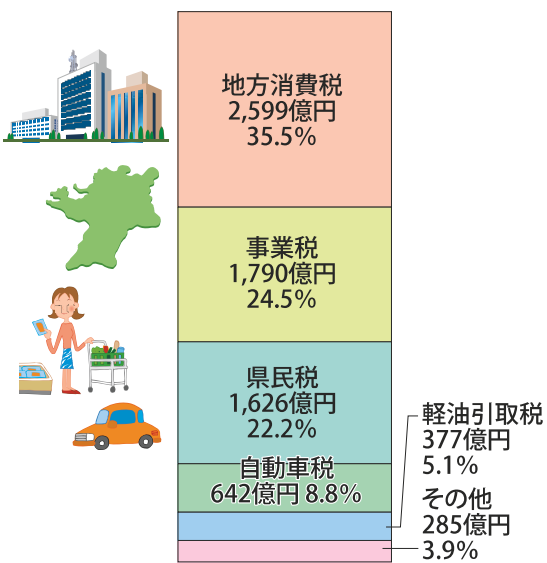


■ 支出（歳出）



● 県税内訳

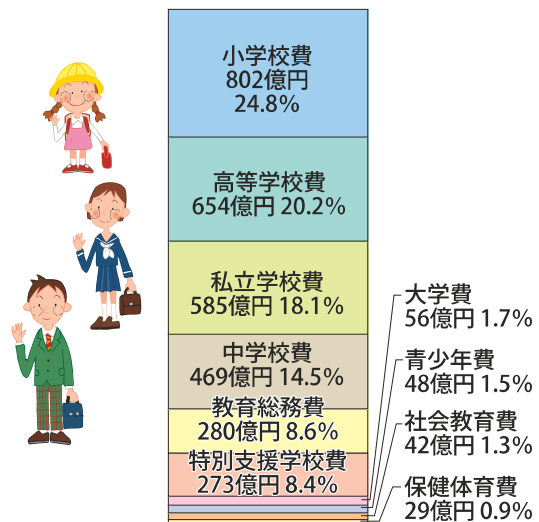
総額 7,319 億円



● 教育費内訳

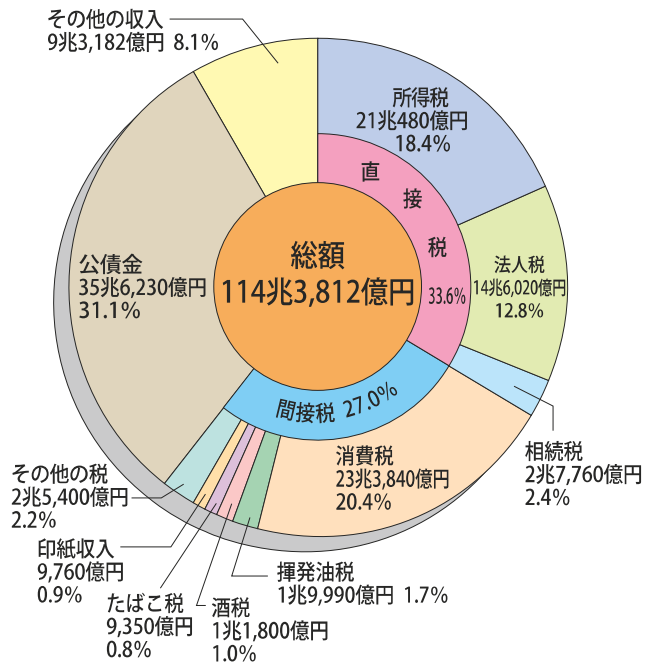
学校の建設、整備、図書教材の購入などに税金が使われています。

総額 3,238 億円

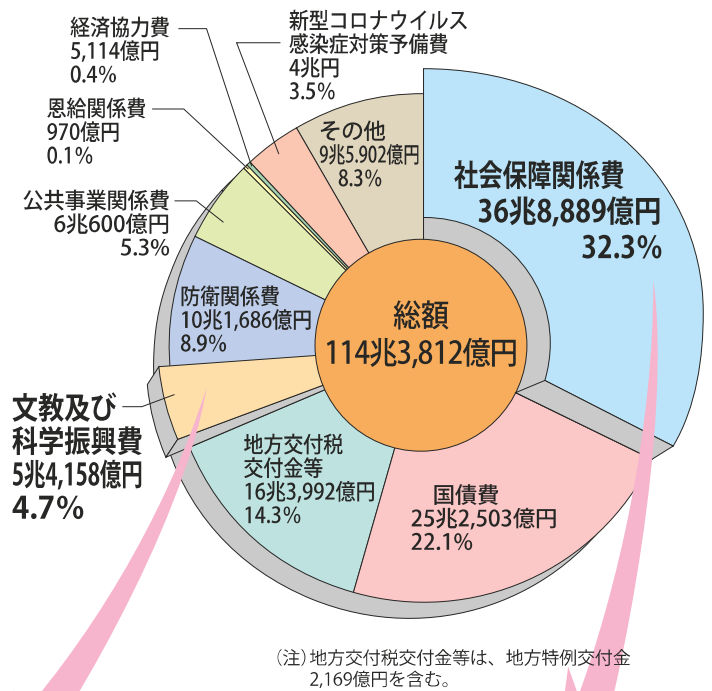


国の令和5年度当初予算

■収入（歳入）



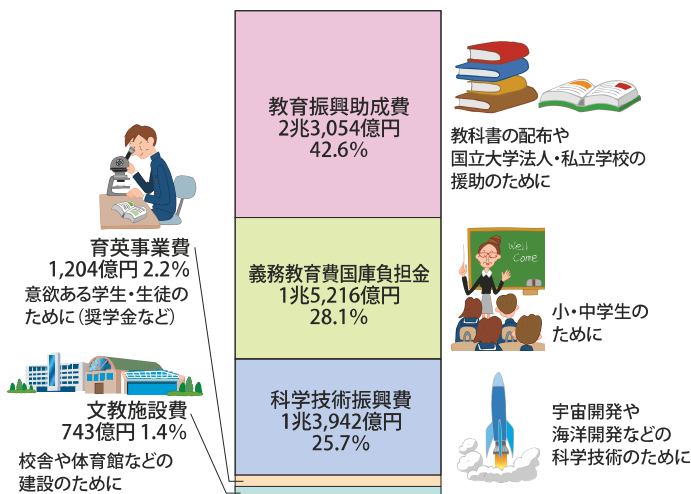
■支出（歳出）



●文教及び科学振興費内訳

税金は私たちの学校教育や科学技術の発展のためにも役立てられています。

総額 5兆4,158億円



●社会保障関係費内訳

税金は私たちの健康や生活を守るためにも役立てられています。

総額 36兆8,889億円

